



秋田県立図書館広報

秋田県立図書館だより

Vol.82

平成27年3月発行



閲覧室の窓に、春の日差しが届くようになりました。このたび、当館で所蔵している『佐竹本三十六歌仙絵巻』の模写絵巻を、デジタルアーカイブに追加しました。電子書籍を登録なしで自由に利用できる「オープンライブラリー」でもお楽しみいただけます。（4面に関連記事）

県立図書館の現在、過去、未来

秋田県立図書館副館長 山崎 博樹

平成四年に県立図書館に赴任して以来、二十二年が経った。国立国会図書館に向向した二年間を除けば二十年も図書館に在籍したことになる。そんな私でも今でも決して忘れられない日がある。それは平成五年十一月一日、現在の県立図書館がオープンした日である。当時、私は新図書館の準備担当であり、前日まで遅くまで準備していたが、やはりどれだけの県民が来館していただけるのかは、不安なことであった。しかし、不安は的中せず、オープン日は三千人を超える来館者に恵まれ、県民の図書館への期待に対して嬉しく思うと同時に責任も感じた日ともなった。

設計段階での利用想定は一日八百人であったが、当時の一年間の利用者は三十三万人強、一日当たりになると千二百人程であった。さらに現在は、年間四十三万人の県民が来館している。他の都道府県立図書館の利用と比較すると、当館のように建物物が古くなって利用が増大しているケースは稀有なようだ。そのため当館には県外から多くの議員や団体の視察があるが、いつも利用が増えている要因を問われる。ただし、その答えを私は明確に提示することができない。

二十二年間で県立図書館は様々なサービスを提示してきた。市町村図書館支援、電子図書館、ビジネス支援、課題解決型コーナー、館内コンサート、学校図書館連携、雑誌スポンサー等、振り返ってみれば毎年のように実に多くのサービスを始めてきた。やはり、ひとつひとつのサービスが県立図書館の利用増に少しずつ結びついて、現在に繋がってきたのだろう。

次の十年にどのような社会変化があり、それに対して図書館がどのようなサービスを行うべきかは、既に老兵である私には知る由もないが、新しい歩みを止めた時から、衰退は始めることは間違いない。文豪トルストイは「最高の幸福は、一年の終わりにおいて、年頭における自己よりも、よくなったと感ずることである。」「『読書の輪』に書いている。私たちも大きな一歩は踏み出せなくても、小さな一歩なら踏み出すことができるのかもしれない。

スポンサー制度を活用した企業活性化の取組

当館は、全国の図書館に先駆けて、平成13年度からビジネス支援サービスに取り組み、平成24年度には「雑誌スポンサー制度」を導入しました。平成25年度からは、文部科学省の「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の委託を受けて「スポンサー制度を活用した企業活性化事業」を実施しました。これまで2年間にわたる取組の概要を紹介します。

1 雑誌スポンサー制度



1階エントランスホールの雑誌スポンサー企業等紹介コーナーでは、各社の資料を入手することができます。

この制度は、企業や商店から雑誌を1年単位で寄贈していただき、その企業や商店を「雑誌スポンサー」として、雑誌カバーに広告等を載せるもの

で、図書館を企業の情報発信の場として活用していただく制度です。1階エントランスホールには雑誌スポンサー企業等紹介コーナーがあり、各社のパンフレット等を置いています。現在、参加企業は37社で寄贈雑誌は53誌となりました。

2 ふるさとビジネスセミナー



ふるさとビジネスセミナーは、11月と2月に行いました。

昨年度に続き今年度もふるさとビジネスセミナーを2回開催しました。1回目は台湾在住で日本企業の進出を支援してい

る白石常介氏から、「魅力ある台湾進出のための基礎」と題して講演していただきました。2回目は日本能率協会総合研究所マーケティングデータバンク事業本部長の石川浩一氏から、「ビジネスマンのためのマーケティング入門」と題して講演していただきました。台湾や中国への進出は県の重要施策の一つであることから、経営者や貿易関連企業、県や団体の担当者などの参加があり、当館の取組を伝えることができました。

3 Sponsors' ビジネスカフェ

Sponsors' ビジネスカフェは、スポンサー企業間の交流を図るために昨年度から開催しています。今年度は5回開催し、内容は、館内見学による当館の業務や資料の紹介、データベースの研修、企業間連携（BtoB）の事例紹介など多岐にわたりました。企業連携の事例としては、当館のビジネス支援から生まれた製品がスポンサー企業同士の



ビジネスカフェでは、参加者同士が事業を紹介し合いました。

交流により商品価値を高めることに成功した事例が紹介されました。参加者はコーヒースタンプを楽しみながら交流を深めました。

4 成果を生かした今後の取組

今まで当館の取り組んできたビジネス支援サービスは、図書館から個人や企業に対するものでしたが、この2年間の取組を通して、企業同士の交流による新製品や地域ブランド等の様々な事業の創出や、県内企業の活性化などの可能性が見えてきました。今後は県の関連部局や商工会等と一層連携を取りながら、ビジネス支援サービスの展開を図りたいと思います。

現在図書館は、地域の情報拠点としての役割を求められていますが、当館では、「日経テレコン21」や「Mpac」等のビジネス系データベースを始め、全8種類の商用データベースを導入しています。豊富なビジネス系資料や図書館員によるビジネスレファレンス・サービス、関連しての専門機関の紹介等も可能です。また、休日にも利用できますので、ビジネスや地域活動で活用していただきたいと思います。

Topics

～県立図書館で開催したイベントや催し物などの紹介～

閲覧室にパスファインダー

「調べ方ガイド」を設置

図書館には、利用者の調べもののお手伝いをするレファレンスサービスがあります。このたび、当館に寄せられる「よくある質問」をベースに、37テーマのパスファインダーを作成し、提供を始めました。

パスファインダーとは、資料や情報の探し方を記した調べものの手引きとなるもので、図書館を利用

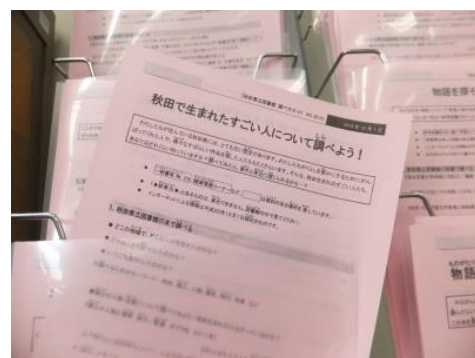
する際に役に立つツールです。

閲覧室の、参考図書コーナー、郷土資料コーナー、調べ学習コーナー、ビジネス支援コーナーに、「調べ方ガイド」として設置しておりますので、どうぞ御活用ください。

(例) 新聞の記事について調べるには

秋田県の歴史について調べるには

秋田の料理について調べよう! など



「調べ方ガイド」の色は、参考図書コーナーとビジネス支援コーナーはグリーン、郷土資料コーナーはイエロー、調べ学習コーナーはピンクです。

東日本大震災からの復興を支援 チャリティーコンサートを開催



フィナーレでは、会場全体で「世界がひとつになるまで」を歌いました。

3月1日、秋田県児童会館のけやきシアターにおいて、震災復興チャリティーコンサートを開催しました。このコンサートは、児童会館を運営するNPO法人あきた子どもネットと共催で行ったもので、今年度で3回目となります。

会場には親子連れや被災地から秋田県内に避難されている方々などおよそ200人の観客が訪れました。今回は「音楽で心のつながりを深めよう」をテーマに、秋田在住の演奏家の方々による童謡やクラシックの演奏、ブラボー中谷さんのマジックショーのほか、ロビーでは電子書籍体験や絵本の読み聞かせも行われ、楽しいひとときとなりました。会場で寄せられた募金55,194円はNPO法人あきたスギッチファンドに寄付し、避難者の方々のための事業に活用されることとなります。御来場くださった方々にお礼を申し上げます。

寧越郡青少年日本文化体験プロジェクト 韓国の高校生 貴重資料を見学



韓国の高校生たちは4階書庫で『佐竹本三十六歌仙絵巻』の模写絵巻を閲覧し、職員の説明を聴きました。

このほど韓国の寧越（ヨンウォル）郡の高校生が当館を訪れ、館内を見学しました。

4階書庫では『御曹司島渡り』や『解体新書』『佐竹本三十六歌仙絵巻』の模写絵巻を直接閲覧しました。また、秋田藩の大工を務めた戸崎家の寄贈による『宮大工資料』や江戸時代に描かれた『久保田大絵図』などにも大変関心を示し、職員の説明を熱心に聴いたり、質問をしたりしていました。

この訪問は、秋田県青少年交流センターが韓国寧越郡青少年相談福祉センターの「青少年日本文化体験プロジェクト」に協力して行うプログラムの一つで、当館へは平成25年に続き2度目の訪問となりました。今回は、高校生19人、指導者5人、通訳ボランティアとして、韓国から秋田大学に留学している学生など総勢30人が訪れました。

News～県立図書館からの最新情報～

電子書籍

雑誌、児童書など 874冊を購入



秋田県立図書館オープンライブラリー PC版
ブラリーの中のトップページ。PCでもお楽しみいただけるようになりました。

当館の電子書籍の提供が、3月5日から拡充されました。

これまで提供してきた『歴史読本』や『週刊ダイヤモンド』『子育てと健康シリーズ』等、雑誌のバックナンバーや図書シリーズを追加したほか、新たに、銀の鈴社発行の児童文学や絵本等50冊が利用できるようになりました。

また、登録なしで自由に閲覧できるオープンライブラリーでは、当館所蔵の美しい貴重書『佐竹本三十六歌仙絵巻』の模写絵巻と昔の建築図を集めた資料群『宮大工資料』を高精密な画像で見ることができます。是非一度、御覧ください。

県議会図書室との連携を開始



県議会図書室で、ミニ展示コーナーをつくりました。

県議会図書室は議員の調査研究に役立てるために設置され、地方自治を中心とした図書や国、県の行政資料を収集・保管しています。

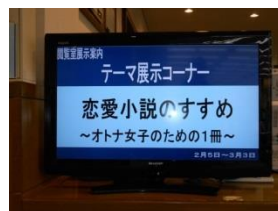
当館では、相互の連携を図るため、1月に県議会図書室を訪問し、担当職員同士の情報交換を行いました。当日は、ミニ展示コーナーづくりや排架と展示の工夫についてアドバイスをし、図書室職員からは所蔵資料についての相談がありました。また、後日、図書室職員の研修を当館で実施しました。

当館の蔵書や商用データベースの活用により、図書室を利用される方の調べものに、より迅速に

応じることができるようになります。また、当館の蔵書検索システムに加入し、当館資料を活用できるようになりました。

これからも、相互の図書館サービスが充実するよう連携を進めていくことにしています。

閲覧室カウンターにデジタルサイネージ 展示やイベントの情報を提供



情報ごとに画面が切り替わります。

当館ではこのほど、デジタルサイネージ（電子看板）を設置し、情報提供を始めました。設置場所は閲覧室に入っすぐの返却カウンターの横です。館内で行う展示や休館日、

イベントやセミナー等の開催など、当館からのお知らせを御覧いただくことができるようになっていきます。

今後は、来館された方への御案内として様々な情報を伝えていくことにしています。

Event～イベント・催し物のお知らせ～

■特別展示 ゴ本（ホン）!といえぱくすり展 ～秋田のミニくすり博物館～

【期間】

3月5日（木）から5月30日（土）まで

【時間】

午前10時から午後5時まで

【会場】

秋田県立図書館2階特別展示室

【内容・見どころ】

江戸時代の薬、マタギのつくった薬、明治時代の薬局看板、懐かしの家庭薬など約130点を展示。秋田のくすり今昔をお楽しみください。

これからの休館日

4月1日（水）

5月13日（水）

6月1日（月）～7日（日）

7月1日（水）

※休館日に図書や雑誌を返却する際は、正面入口横にあるブックポストを御利用ください。